A１　侍学園　年度末報告書（実行団体用）

事業計画より転記してください

1年目　年度末報告書	
1. 事業名	UEDA 次世代支援プロジェクト事業
2. 実行団体名	認定特定非営利活動法人侍学園スクオーラ・今人
3. 実施期間	2020 年 4 月～2023 年 3 月
4. 報告期間	2020 年 10 月 1 日～2021 年 3 月 31 日
5.事業進捗に関する報告（概要）	**進捗状況**
中長期アウトカム 1. 映画館という場を通じて、家にこもりがちな子どもたちやその家族が社会と接点を持ち、切れ目のない支援の路線に乗せるプラットホームを持った地域社会になる。 2. 映画館をはじめとする地域にある様々なセクターが、生きづらさを解消するセーフティーネットとして連携し、機能していく地域社会になる。 3. 長野県の上田市を中心とした東信地域に存在する子ども・若者で、社会参加不全の状態にある者の減少に繋がる活動を行う人材育成のスキームができている。	
短期アウトカム 1. 長野県東信地域において、不登校児童生徒及び無業若年者が、本事業に関わる事により状態が改善している。（家庭外への居場所を持ち、そこから学校または社会へ繋がるきっかけを持つ。 2. 長野県東信地域において、不登校児童生徒及び無業若年者の家族が、本事業に関わる事で、当事者の支援環境が改善している。（居場所に常時来れなくても、他のサポートに繋がっている。） 3. 長野県東信地域において、本事業でケース改善率が上がることにより、学校関係の不登校児童生徒数の問題に対する関心・認知が高まり、当事者や家族を関係支援機関に繋げられる状態になる。その結果、要支援者の発見・対応の時期が早くなる。 4. 長野県東信地域において、「支援の場所」「居場所」として映画館が社会的役割を果たし地域全体で課題意識が共有された結果、包括的支援がより可能になる。 5. 総合支援士の育成・スキルアップが行われ、その結果、不登校児童生徒及び無業若年者が学校または社会へ繋がる機会と時間が増えている。	計画どおり進んでいる

アウトプット **1. 長野県東信地域において、不登校児童生徒及び無業若年者、その家族が、本事業の内容（コミュニティカフェ、公開授業・相談会）を知り、関わるようになる。** **2. 長野県東信地域において、不登校児童生徒及び無業若年者がコミュニティカフェ事業に継続的に参加し、運営（の一部）を担う。** **3. 長野県東信地域において、学校関係のこの問題に関する関心・認知が高まり、本事業の内容を知り、関わるようになる。** **4. 長野県東信地域において、関係団体・関係者が不登校児童生徒の「支援の場所」「居場所」として、映画館の活用に参画・協力する。** **5. 総合支援士が本事業にて経験値を重ね、スキルアップすることにより、継続的なアフターケア活動のモデルができる。**	計画どおり進んでいる

6.事業進捗に関する報告（詳細）

アウトプット 1-1　コミュニティカフェを実施する。（月 1 回）

10/27 利用者 23 名（内侍学園 2 名、対象者親子 1 組、支援関係者 5 名）　11/26　利用者 29 名（内侍学園 3 名、対象者親子 2 組、相談者 1 名、支援関係者 8 名）12/21 利用者 37 名（内侍学園 21 名、対象者親子 1 組、相談者 1 名、支援関係者 2 名）　1/18 利用者 21 名（内侍学園 14 名、支援関係者 2 名）　2/22 利用者 24 名（内侍学園 5 名、対象者親子 1 組、支援関係者 1 名）　3/23 利用者 37 名（内侍学園 13 名、対象者親子 2 組、支援関係者 5 名）

10 月にカフェの Facebook ページを作成。名前は利用者投票により「SAMUcafe」に決定。11 月から相談者が現れ、仕事の相談をし、12 月に経過報告にきてくれた。毎回カフェに立ち寄る親子（中 3 女子）が母親が映画鑑賞中にカフェで過ごす。そこで遊んだボードゲームを気に入り、自分でも購入して中間教室で遊ぶようになった。また、カフェに立ってみたいというので、次回以降調整。1 月よりカフェの情報を QR コードで読み込めるカードも作成。近郊の文化施設や店舗に設置。

また、1 月からワークショップを開催。1 月「沖縄のシーグラスでマスコットつくり」2 月「アイヌ文様のプラ板アクセサリーつくり」3 月「新聞紙スリッパつくり」2 回目以降は、映画の内容に関わるワークショップにしている。
2 月のワークショップでは、お母さんが映画鑑賞中、小学生のお子様を二人ワークショップとカフェに預けてくれた。2 時間以上、飽きることのないよう、カフェスタッフ（侍学園生徒）もあの手この手で楽しませていた。

本事業で連携したい支援団体や教育関係者、大学生などの利用が安定してある。また支援の対象者の利用は当事者 67 名（内侍学園 58 名、他 9 名）、その家族 7 名が把握できている人数。利用者のすべてがアンケートを記入したり、実状を話すわけではないので、潜在的な対象者が利用している可能性は高い。

アウトプット 1-2　映劇における公開授業及び無料相談会を行う。

12/5 に開催。場所は、日程調整が間に合わず、映劇ではなく、侍学園にて開催。参加者は 29 名。今回は保護者向け。事前に来場者予約フォームにて質問を集め、授業内で授業者が答える形式。お子様の対応に悩む保護者が多く参加。授業後の相談会に 5 組参加。また授業は編集し、動画サイトにて一般公開中。

アウトプット 1-3　上田映劇主催の無料上映会の企画・運営協力
上映会のちらしの発送作業を行う。上映会当日は、観客として侍学園生徒が参加している状態。

アウトプット 2-1　コミュニティカフェの運営を当事者参加型で行っていく上での手法を検討し、結果を踏まえて改善する。
基本、侍学園の生徒 2〜4 名が毎回交代で運営する。相談を受ける総合支援士も常駐。また、毎回カフェ終了後に振り返りを行い、次回に活かす。リピーターの中学生の女の子が、次回カフェの体験を希望中。

アウトプット 2-2　コミュニティカフェの運営を当事者参加型で行う。（月 1 回）
上記 2-1 と同じ。月 1 回開催してきたが、次年度からは月 2 回に増やしていく。

アウトプット 2-3　コミュニティカフェ内のディスプレイなど空間整備を当事者である子ども・若者たちの意見を取り入れていく。
カフェ内が普段はプロのカフェが営業中為、内部はあまり手を加えらないが、子どもも大人も楽しめるようなボードゲームや本を設置し、ポップコーンマシーン、ワークショップブースも設けた。これらには侍学園の生徒、及び利用者の意見を毎回取り入れている。

アウトプット 3-1　学校関係者に対して、1-1，1-2，1-3 の周知活動を行う。
NPO 法人アイダオと東信子ども若者サポートネットの協力で行っている。

アウトプット 3-2　東信子ども若者サポートネット地域協議会を通して広報・周知する。
上記 3-1 と同じ。

アウトプット 4-1　アイダオと連携して市内 NPO 等の関係者、医療機関や上田映劇周辺商店街等に周知し、協力を呼びかける。
映劇の近くの商店街施設「犀の角」にて拡大協議会を行い、連携を試みている。居場所支援の「だらっと」からお子様をカフェにて預かり、保護者が映画鑑賞という理想形も実現している。

アウトプット 4-2　上田映劇・アイダオ・侍学園（東信子ども若者サポートネット）を通して、市民ボランティアを募集し、活躍の場をつくる。
ワークショップの講師を市民ランティアに依頼することを検討中。カフェには体験いう形で、中間教室に通う中学生が入る予定だが、こちらも市民ボランティアという見せ方が、本人にも良いようである。
アウトプット 5　総合支援士が本事業にて経験を重ね、スキルアップし、アフターケアを行う
侍学園にて、スタッフ研修やアウトリーチ実践を行う。また自団体で抱え込まずに、多くの連携先を増やすよう務めている。

7.資金計画に関する報告

①　資金計画どおりの執行状況ですか。　：　計画より遅れている

→①で「計画どおり進んでいる」以外を選択した場合の理由：カフェの運営、公開授業に関する資金計画は計画通り。評価資金のみ、コロナのために、県外のコミュニティカフェ見学が行えなかった。
② 報告年度に用意する予定だった自己資金は集めることができましたか。： 計画どおり進んでいる
→②で「計画より遅れている」を選択した場合の理由：【550 字以内】

8.報告期間における課題と次年度にむけた取り組み

以下の観点を含めて記載してください。【2000 字以内】

・進捗状況が「計画より遅れている」場合の理由と対策
・報告期間中に起きた問題点と対策
・次年度の計画の見直しの必要性有無と変更概要

カフェのリピーターもおり、地域の方の困りごと相談や就労相談も増えた。しかし、数は少ない。少ないが相談を受けるスタッフは１人の場合が多く、その間、ワークショップやカフェは侍学園の生徒に任せっきりになる。アイダオ・映劇と業務をお互いにカバーできる形ですすめたい。例えば、映劇が忙しい場合は受付をサポート、相談が入った場合は映劇やアイダオがカフェのサポートを行うなど。
またワークショップ予算、カフェの回数を増やすための予算が計画になかったため、予算内でやり繰りをしている状態。変更ができればお願いしたい。

9.広報に関する報告

以下に該当する内容がある場合には、概要を記載してください。提出可能な場合は PDF データ等を添付してください。

・メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）：日付、記事名、媒体、制作目的、概要、リンク先、部数等を記載してください。
・広報制作物等：当該事業費を使って製作したもの（出版物、印刷物、被服等、事業費を使って対外的に当事業を訴求するために制作されたもの）について制作物の種類、発行・製作時期、概要リンク先、部数等を記載してください。
・報告書等：JANPIA に提出する報告書以外に、対外的に報告書を提出した場合は、報告書提出日、提出先等を記載してください。

カルチャードット NAGANO
https://www.culture.nagano.jp/special/5172/?fbclid=IwAR3qfdWHsGURCMBPqydUnZU2lXvhYz0xkOkPC5MLNvzq9QbszLb1h0AAua0

SAMUcafe のカード作成　500 枚

10.規定類の整備に関する報告

① 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。： 整備中
② 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。： 未公開
→②で「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：規定類の整備が完了後に一般公開を考えていたが、まだ整備が追い付いていない。一部公開は近日中（4 月中）に公開可能である。
③ 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。： いいえ（変更がなかった）
→③で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】

11.ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

① 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。： はい
→①で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】

② 内部通報制度は整備されていますか。： はい
→②で「はい」の場合は、設置方法（複数選択可）： 内部に窓口を設置 、外部に窓口を設置
③ 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。： はい
→③で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】
④ 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。： はい
→④で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】
⑤ コンプライアンス委員会（※）は定期的に開催されていますか。： はい
※コンプライアンス委員会を設置していない実行団体は、担当部署または担当者に報告の対象となる不正行為を資金分配団体に報告済かを回答してください。
報告の対象となる不正行為とは、資金分配団体-実行団体間の資金提供契約書第 15 条に定めるものです。
→⑤で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】
⑥ 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）： 内部監査を実施
→⑥で「実施する予定がない」を選択した場合の理由：【550 字以内】

13.活動の写真

活動の写真がある場合には貼り付けてください。（画像データは 1 枚 2MG 以下で 3-4 枚程度としてください。）